

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	肺扁平上皮癌における CD109 発現の意義の解析 (B25-150)
当院の研究責任者 (所属・職位)	村雲 芳樹 (医学部病理学・教授)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	無し
本研究の概要・背景・目的	CD109 は細胞膜表面に存在する GPI アンカー型糖タンパクであり、扁平上皮癌にて高発現しています。また、上皮成長因子(EGF)からの細胞内シグナルを亢進させる機能があります。本研究では、肺扁平上皮癌にて CD109 発現が EGF 受容体の発現に影響を与えている可能性について、手術検体を用いた免疫染色により検討します。そして、CD109 発現が肺扁平上皮癌の進展、予後に影響を及ぼしている可能性について明らかにします。
調査データ該当期間	<u>肺扁平上皮癌の患者さん</u> ：2018 年 1 月 1 日～研究機関の長の許可日まで <u>肺腺癌の患者さん</u> ：2020 年 1 月 1 日～研究機関の長の許可日まで
対象となる患者さん	<u>肺扁平上皮癌の患者さん</u> ：2018 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日までの間に肺扁平上皮癌の診断にて北里大学病院で手術を受けた方。 <u>肺腺癌の患者さん</u> ：比較対象として 2020 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までの期間に肺腺癌の診断にて北里大学病院で手術を受けた方。
研究の方法 (使用する試料等)	<u>扁平上皮癌の患者さん</u> ：2018 年 1 月 1 日～研究機関の長の許可日までの電子カルテから、病理組織診断名、分化度、TNM 分類、病期、脈管侵襲、術後化学療法の有無、再発、転帰、予後（無増悪生存期間、全生存期間）の情報を利用します。病理標本を利用して免疫組織化学染色を行い、目的の蛋白の発現を調べます。 <u>腺癌の患者さん</u> ：病理標本を利用して免疫組織化学染色を行い、目的の蛋白の発現を調べます。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は使用しません。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、病理学村雲単位の一般研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでに研究結果の公表が行われた後では、提供していただいた試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、

	<p>公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：医学部病理学 教授 担 当 者：村雲 芳樹（むらくも よしき） 電 話：042-778-8810</p>
備 考	